

# 佐脇 健 — 13140days 展

13140 DAYS EXHIBITION



KENICHI SAWAKI

2015年2月17日(火)~3月1日(日) iichiko総合文化センター 県民ギャラリー (B1F)

開場時間: 10:00~19:00 休館日: 2月23日(月) 観覧料: 無料

主催: 大分大学教育福祉科学部 大学院美術教育専修・総合表現コース

後援: 大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、シティ情報おいた、大分ケーブルテレコム

# 佐脇 健一 13140days 展

KENICHI SAWAKI 13140 DAYS EXHIBITION

彫刻担当佐脇健一教授の退任にあたり、「13140days展」と題した展覧会を開催いたします。今回退任を記念して、在職期間 13140日(36年)の「時間」をテーマに制作した7点の映像・立体・平面作品と、近作12点の作品を中心に展示いたします。「空間」と「時間」を俯瞰した佐脇の世界をご高覧賜りますようお願い申し上げます。[以下、佐脇健一展「未来の記憶」(2012大分市美術館主催・2013目黒区美術館主催)のフライヤーより抜粋]

佐脇は、さまざまな素材やメディアを駆使しながら、風景を生み出す彫刻家です。大学院修了後、一貫して風景彫刻の制作に取り組んできました。その作品は、ブロンズや鉄を精巧に鑄造し、俯瞰的な風景として縮減表現するもので、佐脇独自の小宇宙を出現させています。

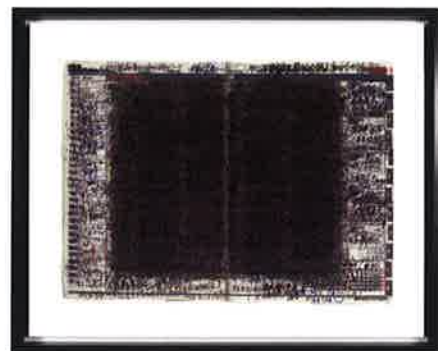
モチーフは、風化して廃墟となった近代産業遺産や、最先端のテクノロジーです。物質文明に対する深い洞察によって、ものの生成・喪失・生・死といった普遍的命題や、存在の意味、人と自然の関わりを空間に提示しています。20年以上前に制作した「表相-炉心構造」や「封印」シリーズは、廃墟となって錆びついた原発やプルトニウム貯蔵施設を鉄で鑄造した作品です。今日の原発事故を予見したかのようなそれらの作品は、単なるノスタルジーとしての近代ではなく、「未来の記憶」ともいえるべき、未来から現在をさかのぼる想像力の時間軸が込められています。時間や空間というフィールドに、記憶や想像を装填した作品は、見る人のさまざまな感情を呼び起こし、心に深く訴えかけてきます。



《されどわれらが日々》2015 3channel video installation



《Bitou》2014 mixed material



《Diary》2015 inkjetprint



《Seal 2013-2》2013 mixed material



《時間の沈殿》2014 ceramics

## [略歴]

1949年大分県生まれ。1977年東京芸術大学大学院修了。

## [最近の主な作品発表]

- 2009 佐脇健一彫刻展「Landscape 青空の見える風景」(朝倉文夫記念館)
- 2010 ART FIERA 2010(ポローニャ, イタリア)
- 2010 ART COLOGNE 2010(ケルン, ドイツ)
- 2011 佐脇健一展「Landscape 青空の記憶」(ベイスギャラリー・東京)
- 2012 佐脇健一展「未来の記憶」(大分市美術館), 2013(目黒区美術館巡回)
- 2013 佐脇健一展「LANDMARK」(ベイスギャラリー・東京)
- 2013 ART FIERA TOKYO(東京国際フォーラム)

## [問合せ先]

〒870-1192 大分市旦野原700 大分大学教育福祉科学部 彫刻研究室  
tel : 097-554-7593 mail : sawaki@oita-u.ac.jp  
URL : http://sawaki.dum.jp



iichiko 総合文化センター 県民ギャラリー(B1F)  
iichiko Culture Center

大分県大分市高砂町2-33 TEL.097-533-4002